

平成23年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クリムゾン
 コード番号 2776 URL <http://www.crymson.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 姚 健

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 児玉 俊明

TEL 03-5637-0505

四半期報告書提出予定日 平成22年12月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第3四半期の連結業績(平成22年2月1日～平成22年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第3四半期	3,726	—	△319	—	△245	—	△271	—
22年1月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第3四半期	△11,261.48	—
22年1月期第3四半期	—	—

(注) 当第3四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第3四半期	2,331	256	10.7	10,289.02
22年1月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 23年1月期第3四半期 248百万円 22年1月期 1百万円

(注) 当第3四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年1月期	—	0.00	—	—	—
23年1月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,816	—	△397	—	△335	—	△368	—	△15,248.83

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

(注) 連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、対前期の増減率については記載していません。

4. その他 (詳細は、P.2【定性的情報・財務諸表等】「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 1社 (社名 可麗美(北京)国際貿易有限公司)、除外 1社 (社名)
 (注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年1月期3Q	24,715株	22年1月期	24,715株
② 期末自己株式数	23年1月期3Q	582株	22年1月期	582株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年1月期3Q	24,133株	22年1月期3Q	24,133株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成22年8月30日発表の「平成23年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における業績予想は非連結のものでありましたが、当第3四半期より連結財務諸表を作成することに伴い、連結業績予想を作成しております。なお、詳細につきましては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

・上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. その他の情報	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成22年2月1日～平成22年10月31日）におけるわが国経済は、新興国における海外経済の回復や政府による景気刺激策等で、一部の企業においては回復傾向が見られるものの、雇用情勢や所得環境は以前厳しい状況下にあります。また、米国経済の先行きや欧州経済をめぐる懸念材料を背景に夏場以降急激な円高が進行し、先行き不透明な状況下で推移いたしました。

当社グループが参画いたしますカジュアルウェア市場におきましても、消費者の生活防衛意識や節約志向が根強く、低価格志向や慎重な消費傾向が継続したことに加え、記録的な猛暑により秋冬商品の動きが出遅れるなど、非常に厳しい環境が継続しております。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、事業の選択と集中による収益性の改善に努め業績の回復を図ってまいりました。

卸売事業につきましては、プロモーション戦略ブランドであります「RUSS-K」（ラス・ケー）において、ブランドイメージキャラクターを今秋より一新し、新規顧客の開拓と獲得を目指し販売強化をいたしました。

小売事業につきましては、不採算店舗の閉鎖に伴い閉店セールを開催し、売上高の確保及び在庫の圧縮を行うことにより、収益性の改善及び効率化を重視した販売活動を実施しました。

ライセンス事業につきましては、引き続きライセンス占有ブランドによる新規市場の開拓に努めました。

一方、販売費及び一般管理費につきましては、不採算店舗の閉鎖や物流センターの縮小等による地代家賃や人件費をはじめとする諸経費の削減に努めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,726,372千円、営業損失は319,026千円、経常損失は245,486千円、四半期純損失は271,773千円となりました。

（注）当社は、当第3四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。従いまして、当第3四半期連結累計期間は連結初年度であるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、2,331,009千円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金が497,442千円、たな卸資産が299,025千円、敷金及び保証金が132,076千円となっております。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、2,074,871千円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が601,928千円、短期借入金が719,629千円、未払金259,478千円となっております。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、256,137千円となりました。

（注）当社は、当第3四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。従いまして、当第3四半期連結累計期間は連結初年度であるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の記載は行っておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月30日に公表いたしました「平成23年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」における個別業績予想につきましては、第3四半期累計期間の業績動向を踏まえ、第4四半期の計画進捗状況を勘案し、見直しを行った結果修正しております。また、当社は、平成23年1月期第3四半期末より連結決算に移行したため、新たな通期業績予想を作成しております。

詳細は、本日発表の「営業外収益、特別損失の計上及び通期個別業績予想の修正ならびに平成23年1月期連結決算の開始に伴う通期業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第3四半期連結会計期間より、可麗美（北京）国際貿易有限公司の重要性が高まったため連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、当第3四半期累計期間においては、依然として雇用情勢や所得環境は厳しい状況が継続し、また、米国経済の先行きや欧州経済をめぐる懸念材料を背景に夏場以降急激な円高が進行し先行き不透明な状況の中で、プロモーション戦略ブランドである「RUSS-K」（ラス・ケー）において、ブランドイメージキャラクターを一新するなど基幹事業である卸売事業を中心に積極的な販売活動を実施した結果、売上高は3,726,372千円となりましたが、販売費及び一般管理費等の諸経費の削減が大幅に遅れたことにより、営業損失319,026千円、経常損失245,486千円、四半期純損失271,773千円を計上することとなりました。このような状況から、引き続き収益性と財務体質の早急な改善を迫られております。

当該状況を解消すべく、当社では、引き続き営業活動において新ブランド展開によるマーケットシェアの回復や新規取引先の開拓、直営店舗の収益性の見直しなどを行っております。一方、販売費及び一般管理費につきましては、不採算店舗の閉鎖や物流センターの規模縮小、業務改革による組織の再編成等を行うことにより、経費削減に努めております。これらの施策を推進することで経営基盤の強化を図り、企業経営の安定化に努めてまいります。

当社では、上記施策により、経営環境が正常化することで、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況についても解消されるものと考えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成22年10月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	165,820
受取手形及び売掛金	497,442
たな卸資産	299,025
未収入金	343,029
その他	182,920
貸倒引当金	△2,252
流動資産合計	1,485,986
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	133,418
土地	132,216
その他	13,954
有形固定資産合計	279,589
無形固定資産	
投資その他の資産	118,375
敷金及び保証金	132,076
その他	402,050
貸倒引当金	△87,069
投資その他の資産合計	447,057
固定資産合計	845,022
資産合計	2,331,009
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	601,928
短期借入金	719,629
1年内返済予定の長期借入金	240,538
未払金	259,478
未払法人税等	19,303
引当金	1,458
その他	108,506
流動負債合計	1,950,843
固定負債	
長期借入金	123,518
繰延税金負債	510
固定負債合計	124,028
負債合計	2,074,871

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成22年10月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	996,650
資本剰余金	1,262,690
利益剰余金	△1,872,319
自己株式	△81,809
株主資本合計	305,211
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△8,641
繰延ヘッジ損益	△22,069
為替換算調整勘定	△26,195
評価・換算差額等合計	△56,906
新株予約権	7,832
純資産合計	256,137
負債純資産合計	2,331,009

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年10月31日)
売上高	3,726,372
売上原価	2,070,859
売上総利益	1,655,512
販売費及び一般管理費	1,974,539
営業損失(△)	△319,026
営業外収益	
受取利息	51
受取配当金	281
為替差益	14,113
店舗閉鎖益	68,529
その他	15,256
営業外収益合計	98,231
営業外費用	
支払利息	22,388
その他	2,303
営業外費用合計	24,692
経常損失(△)	△245,486
特別損失	
固定資産売却損	13
固定資産除却損	707
減損損失	6,577
貸倒引当金繰入額	29,250
商品廃棄損	4,062
その他	867
特別損失合計	41,479
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,965
法人税、住民税及び事業税	17,119
法人税等還付税額	△32,312
法人税等合計	△15,192
四半期純損失(△)	△271,773

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,965
減価償却費	14,043
無形固定資産償却費	30,244
長期前払費用償却額	8,653
減損損失	6,577
商品廃棄損	4,062
貸倒引当金の増減額(△は減少)	29,919
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,848
受取利息及び受取配当金	△51
支払利息	22,388
為替差損益(△は益)	△606
有形固定資産売却損益(△は益)	13
有形固定資産除却損	707
売上債権の増減額(△は増加)	731,547
たな卸資産の増減額(△は増加)	170,540
仕入債務の増減額(△は減少)	△371,125
未払金の増減額(△は減少)	△286,325
その他	68,490
小計	139,265
利息及び配当金の受取額	83
利息の支払額	△22,570
法人税等の支払額	△19,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	20,465
有形固定資産の取得による支出	△12,792
無形固定資産の取得による支出	△1,102
投資有価証券の取得による支出	△1,107
貸付金の回収による収入	169
敷金及び保証金の差入による支出	△621
敷金及び保証金の回収による収入	269,818
その他	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	274,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△150,429
長期借入金の返済による支出	△261,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△412,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	23
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△40,010

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日)	
現金及び現金同等物の期首残高	190,680
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,150
現金及び現金同等物の四半期末残高	165,820

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日）

当社グループは、所有権及び使用権を有するブランドのアパレル繊維商品（主にカジュアルウェア）に関連する事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年2月1日 至 平成22年10月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. その他の情報

該当事項はありません